



# 学校だより



港区立本村小学校 校長 山村 登洋

HP <http://hommura-es.minato-ky.ed.jp/> Eメール [hommura-es@minato-ky.ed.jp](mailto:hommura-es@minato-ky.ed.jp)

## 今、子供たちに伝えたいこと 「仕草・思草」から

校長 山村 登洋

### 白熱！平昌オリンピック



テレビの前で手に汗握った平昌オリンピックが終了しました。冬季オリンピック史上最多の13個のメダルをとった日本チーム。私たちに多くの感動をあたえてくれました。私も全校朝会では、66年ぶりの2大会連続金メダル、フィギュアスケート男子の羽生結弦選手、スピードスケートで日本女子初の金メダルをとった小平奈緒選手たちの日頃の努力や精神力の強さ、そして、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れない素晴らしい態度に感動したこと、メダルをとった選手は全選手の中の一握りで、メダルをとることができなかった選手の方が圧倒的に多いということ話をしました。次の2020年の東京オリンピックが2年後に迫ってきましたが、このようなオリンピックの光と影についてもしっかりと

学んでほしいと思いました。

**仕草と思草** さて、今月の22日に本校を卒業していく6年生をはじめ、3月は子供たちにとって、進級や進学のための準備期間となります。それぞれが、次のステップ・アップに向かって希望を胸にするのです。そんな時期だからこそ、子供たちと共に考えていきたいと思うことがあります。

「仕草」という言葉です。「身体の動きや様子」という意味です。ところが「江戸しぐさ」という昔の研究をされている方々は「昔は、『思草』という言葉大切にしてきた」と言っています。つまり、傘を差してすれ違うときは、互いに傘を外側に向けて、相手にぶつかったり、しずくがかかたりしないように気配りをしていたということです。そこには「相手に対する思いやりの気持ち」があったということです。私のイギリス人の友人にこの話をしたことがあります。イギリスでは「after you (どうぞお先に)」というのが社会人のマナーです。友人が言うには最近このことがおざなりにされがちで、危機感をもっているとのことでした。私たちの周りもいろいろなところで、江戸しぐさのように今までよいとされてきた事柄がいつのまにかあまり大切に思われなくなってきたことがとても残念です。子供たちは「親(大人)の背中を見て育つ」と言われています。その背中に、思いを示しながら、お子さんと語り合っているかがでしょうか。



**江戸しぐさ** 今年度も保護者、地域の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。来年度も、保護者、地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。最後にこれからも大切と感じる江戸しぐさをいくつかご紹介して終わりたいと思います。

- 傘かしげ：雨の日互いの傘を外側に傾け、ぬれないようにすれ違うこと。
  - 時泥棒：断りなく相手を訪問し、または、約束の時間に遅れるなどで相手の時間を奪うのは重い罪(十両の罪)にあたる。
  - 肩引き：道を歩いて、人とすれ違うとき、左肩を路肩に寄せて歩くこと。
  - 七三の道：道の真ん中を歩くのではなく、自分が歩くのは道の3割にして残り7割は緊急時に備え他の人のためにあけておくこと。
  - うかつあやまり：たとえば相手に自分の足が踏まれたときに「すみませんこちらがうかつでした」と自分が謝ることで、その場の雰囲気をよく保つこと。
- このような気配りはこれからも伝えたいものです—

《参考文献》越川禮子「江戸しぐさ」の知恵袋

## 6年生を送る会

特別活動委員会

2月26日(月)に、「6年生を送る会」と「お別れ給食」を行いました。今まで陰から学校を支えてくれた6年生がこの日は主役となります。1年生と手をつないで6年生が入場した後は、4、5年生代表委員の司会進行に沿い、各学年が出し物を披露していきました。代表委員会も、1月からは、5年生が中心となり運営をしています。1年生は「かさこじぞう」ならぬ「校帽じぞう」という寸劇を演じた後、「きみとぼくのラララ」という「離れてもずっとつながっている」という詞の歌を歌いました。2年生は、6年生が以前音楽会で歌った曲を、イントロクイズにした後、その曲を歌いました。3年生は、6年生に小学校生活についてのインタビューをした後、旅立つ卒業生の励ましとなるような「スマイル・アゲイン」という曲を歌いました。4年生は、呼びかけの後、二分の一成人式でも披露した「八木節」の合奏を演奏しました。若竹学級は、「若竹太鼓」を全員で演奏しました。そして5年生は、恒例の「卒業生の似顔絵」を披露しました。一人一人丁寧に描き、それをもとに6年生を紹介しました。どの学年も、時間のない中ですが、6年生に感謝の気持ちを表そうと準備をしました。皆の気持ちを受け止めた形で、卒業生からは「Sing Sing Sing」というジャズの合奏が贈られると共に、卒業に向けた思いを伝えられました。

また、本村小学校を託すという意味で、校旗が6年生から5年生に引き継がれ、最後は、「Yell」を全員で歌いました。代表委員会と音楽委員会が12月に選曲をしました。別れを前向きに捉え、旅立とうとする歌詞が卒業にふさわしいという理由で選ばれました。難しい曲にもかかわらず、みんな元気な歌声を響かせていました。

その後は、「お別れ給食」です。1年間仲良く遊んだ「なかよし班」でいただきました。これも5年生が中心となって運営しました。

今年度も、残すところ、あと1か月です。卒業生だけでなく、どの学年も、来年度を見据えて、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

## 今年度の生活指導をふりかえって

生活指導部

梅の花もほころび始め、寒さの中にも春の訪れを感じる今日この頃となりました。今年度も残すところあと1ヶ月となりました。3月は1年間の締めくくりの時期です。それぞれの学年で、進級、進学に向けて1年のまとめに取り組んでいます。

今年1年間「本村小のやくそく」を守って生活できたでしょうか。気持ちのよい挨拶、時間を守ったきまりよい生活、忘れ物をせず集中した学習、ルールを守った休み時間の遊び方など、今年1年間の生活を見つめ直し、成し遂げられなかった事、達成できた事を考えて、目標に向かって努力をして欲しいと思います。

子供たちは、この1年間、学習や運動、友達との学校生活に精一杯取り組んできました。1年間が終わろうとする今、保護者の皆様には、この時期にぜひ時間をとっていただき、お子さんと一緒に1年間の学習や生活を振り返っていただきたいと思います。学校でも学習面、生活面ともに1年間を振り返り、自分の成長に気付けるよう今後も励ましながら、応援しつつ、指導を行っていききたいと思います。

残り僅かな日々をしっかりと過ごして、気持ちよく進級、進学して欲しいと願っています。

3月の生活目標は、「1年間をふりかえろう」です。

<今月の生活努力目標>

- ・自分のめあてをふりかえろう。
- ・「本村小のやくそく」を守ることができたか、ふりかえろう。
- ・校内、室内の整理整頓をしよう。
- ・計画的に荷物を持ち帰ろう。

# 授業の窓

5年担任

## 体験的な活動を通して

5年生は社会で、日本の地理、農業・漁業・工業生産、情報、環境と、多岐にわたる内容を学習してきました。2月の社会科見学では、工業の学習のまとめ・復習として、日産自動車湘南工場とキリンビバレッジ湘南工場に行ってきました。教科書や資料映像で学んできた工場の様子を、実際に目で見て肌で感じる事ができました。湘南地域は本校から遠いのですが、自動車工場では溶接の過程が長いライン上で実際に見ることができる唯一の工場で、作業ロボットや作業する人たちの様子や流れを間近で見事もできました。作業内容の多様さや、作業する人たちの危険性や安全を守る工夫、意識目標など、興味をもちよく観察している子供たちが多かったです。質問もよく出して、疑問をもち、解決する学習の形をもつことができている子供たちも増えてきていて、良い体験学習になったと思います。



理科の授業で、子供たちが楽しみにしている体験的な活動といえば、実験です。3学期は「もののとけ方」の学習で、理科室の実験や観察を行っています。最初から「実験ありき」ではなく、まずは教室で課題を作り、予想をして、実験の計画を立てたり、確認したりするという学習の流れをしっかりと行ってから、実験に取り組ませるようにしています。実験を行うことで、結果が自分が考えたものと同じかどうか比べたり、知識と違っていった場合には理由を考えたりすることも大切です。結果や活動の中から生まれた疑問や興味を、子供たちの次の学習につなげていきたいと考え、授業を進めています。

社会も理科も普段の教室での授業を大切にしているからこそ、体験的な学習の中で、様々な考えや活動が広がってきています。学ぶ意欲を大切に、これからも体験的な活動を取り入れて、楽しい学習にしていきたいと思います。

## 卒業に向かって

6年担任  
若竹担任

昨年春、子供たちが最高学年に進級したときに咲いていた桜の木に、今年もそろそろつぼみが見られる時期となりました。そのつぼみが開く頃、子供たちは晴れの門出を迎えることとなります。

卒業式の日まであと1ヶ月となりました。

6年生一人一人の心の中に、「卒業」の二文字がだんだんと広がってきています。小学校に入学してからの6年間でいろいろな形で思い出されているようです。

先日、行われた「6年生を送る会」では、1年生から5年生までの子供たちから心の込もった音楽や演技、似顔絵が贈られ、本当にいい顔をしていました。下級生に感謝し、合奏をもって6年生もお返しをしました。下級生に見せる最後の姿であることを思いながら、取り組みました。

6年生の保護者の皆様におかれましては、お子様の12年間の成長が、また小学校に入学してからの6年間で思い出され、万感の思いで過ごされていることと拝察いたします。

子供たちは毎日の生活の中で、泣いたり笑ったり様々な経験を重ねて、一まわりも二まわりも大きく成長しました。こうして成長できたことへの感謝の気持ちを胸に、今、謝恩会の準備を進めています。今まで育ててくれた家族の方へ、お世話になった先生方へ、合奏で感謝の気持ちを伝えます。自分たちが今あるのは、周りの方々の深い愛情があればこそ、そして、それを自覚し、成長することがその恩に報いること、この大切なコンセプトを理解し、良い会にするため頑張っています。

3月22日に迎える卒業式は、厳粛でおごそかな中でも温かい雰囲気でお子たちを送り出せるよう、しっかり準備を進めていきたいと思ひます。

# 卒業式の意義

## 卒業式委員会

各学年の最後の月になりました。まとめの時期であり、しめくくりの月、折り目をつける月です。「卒業式」は、6年生にとっては、小学校生活6年間の折り目をつける最後の行事になります。

6年生はこの1年間、本村小学校の中心となって活躍してきました。在校生に「かっこいい姿」を見せてくれる機会も多くありました。その姿を見て、「ああいう6年生になりたい。」と思った在校生は多かったと思います。また、6年生は見えないところでも、学校のためや下級生のために行動し、力になってくれたこともたくさんありました。「6年生を送る会」や「お別れ給食」では、在校生が、卒業する6年生に今まででお世話になったことや思い出、そして感謝の気持ちを伝えました。



卒業式には、そんな下級生の思いを代表して5年生が6年生を送る立場として出席します。

卒業式のねらいの中に、6年生は「6年間の学校生活を振り返り、学校、家庭、地域社会に対する感謝の気持ちをもつ」こと、5年生は「卒業生の前途を祝福し、良い伝統を受け継ぎ、さらに発展しようとする意欲をもてるようにする」ことがあります。参列した子供たちが、新しい生活に向かうための折り目をしっかりつけられるように、厳粛で清心さをもった式にしていきます。

6年生が卒業の喜びと感動を味わえるよう、今月は歌や呼びかけの練習に全力で取り組もうと思います。

# 3月

## の行事予定

日	曜日	学校行事・予定等
1	木	保護者会・合唱発表会(1・2・3年)
2	金	B時程 4時間授業(1~4年 謝恩会のため) 安全指導
3	土	土曜授業日 B時程 卒業と進級を祝う会(若竹) 2年生まとめの会(2年)
4	日	
5	月	全校朝会
6	火	避難訓練 短縄大会 委員会
7	水	
8	木	幼稚園交流給食(5年) 児童集会 ☆
9	金	全校読み聞かせ ☆
10	土	
11	日	
12	月	全校朝会
13	火	朝読書
14	水	
15	木	音楽集会 ☆
16	金	朝読書 5時間授業(1~4・6年 卒業式会場設営のため)
17	土	土曜授業日 B時程
18	日	
19	月	全校朝会
20	火	4時間授業(1~4年 卒業式予行演習のため) 大掃除(6年) 給食終わり
21	水	
22	木	卒業式 1~4年は休業日
23	金	修了式 大掃除(1~5年)
24	土	
25	日	
26	月	春季休業始
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31		

### 来年度の行事予定

4月5日(木) 入学式準備(新6年)  
4月6日(金) 始業式 8時30分~  
入学式 10時~

☆: 放課後遊び

※天候等の関係で、予定が変更することがありますのでご了承ください。

※3学期の避難訓練は予告なしで行います。

